令和2年度 事業報告

介護老人福祉施設 フラワーホーム

【総合的な目標の総括】

施設入居者がこれまでどのように生き、どのように暮らしてきたのかを把握するために、施設入居時に生活歴や嗜好、家族関係等を聴き取り、関係職種で共有することができた。フラワーホームでの施設看取り率が100%とすべての入居者が施設での看取りであった。看取り介護期において、嘱託医、家族、施設の関係職種と連携を図り、その都度、話をする機会を設け、利用者・家族の意向に沿った終末期支援ができたと考える。コロナ下で外部との関わり・関係性を構築することが例年通りとはいかなかった。入居者と家族の面会もままならず、地域の感染症の状況に応じて、面会制限を一部介助したり、オンライン面会・窓越し面会等の手段を用いたりして、家族とのつながりを保った。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

例年実施できていた行事や外出支援がコロナ下により、思うように実施できず、制限された状態が続いた。そのような状況下においても、感染症対策を講じたり、個別で対応したりすることによりできることを模索し、支援することができた。

また、施設内での新型コロナウイルス感染症の発症を想定したシミュレーション(訓練)実施、防護服の着脱訓練、感染症の勉強会、コロナフェーズ(感染症の流行状況等に応じて、対応を段階的に区切った表)作成、職員に対する最新情報発信、定期的な消毒・換気等により感染症対策への意識を高めることができた。

病状の悪化や認知症の進行等により食への意欲が低下したり、理解が乏しくなったりした入居者と真摯に向き合い、食の支援を管理栄養士やケアマネが主となり、関係職種と協同して、本人の状態や意向に配慮しながら最期まで支援することができた。

職員教育については、介護リーダーを対象とした人材育成研修会を実施した。また、県老協主催の研修会を始めとする外部研修にもオンラインで受講してもらい、知識と技術の向上を図ることができた。

人材確保に関しては既存特養の介護職の数を常勤換算で19.9、ショートステイで9.3確保できた。フラワーホーム(ショートステイを含む)の介護職員の令和2年度の介護職離職者は常勤換算で4.0だった。

【収益的活動】

多床室の年間ベッド稼働率は99.1%で当初目標を0.1%上回り、予算達成比率99.7%だった。ショートステイは年間ベッド稼働率85.7%で当初目標を0.7%上回り、予算達成比率101.6%だった。

入所施設における看取り介護加算については、ケアマネが中心となり、嘱託医・看護職等の関係職種との連携を図り、算定率90.9%(死亡退所者11人中10人算定)と高い算定率だった。現状算定できている加算については、職員数の確保と看護職・介護福祉士・管理栄養士・機能訓練指導員・歯科衛生士・障害者生活支援員等の専門職の配置により継続して算定することができ、収入に結び付けられた。

【支出的活動】

感染症対策に関するかかり増し経費について、行政からの補助金交付も受け、感染症対策に必要な備品の備蓄を行った。

浴室の天井走行式リフトの整備を行い、ノーリフト(持ち上げない介護)を浸透させ、介護者・入居者共に身体負担軽減の一役を担った。

【地域貢献活動】

3名の高齢者雇用を継続することができ、本人たちの労働意欲の向上だけでなく、入居者に対する細やかな配慮や気配りができ、介護人材不足を補う上でも大きな効果となった。

令和2年度 事業報告

介護老人福祉施設 フラワーホームユニット

【総合的な目標の総括】

施設入居者がこれまでどのように生き、どのように暮らしてきたのかを把握するために、施設入居時に生活歴や嗜好、家族関係等を聴き取り、関係職種で共有することができた。フラワーホームユニットでの施設看取り率が100%とすべての入居者が施設での看取りであった。看取り介護期において、囑託医、家族、施設の関係職種と連携を図り、その都度、話をする機会を設け、利用者・家族の意向に沿った終末期支援ができたと考える。コロナ下で外部との関わり・関係性を構築することが例年通りとはいかなかった。入居者と家族の面会もままならず、地域の感染症の状況に応じて、面会制限を一部介助したり、オンライン面会・窓越し面会等の手段を用いたりして、家族とのつながりを保った。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

特殊浴槽での入浴支援時、福祉用具を活用したノーリフト(持ち上げない介護)を継続的に実践することができた。

例年実施できていた行事や外出支援がコロナ下により、思うように実施できず、制限された状態が続いた。そのような状況下においても、感染症対策を講じたり、個別で対応したりすることによりできることを模索し、支援することができた。

また、防護服の着脱訓練、感染症の勉強会、コロナフェーズ(感染症の流行状況等に応じて、対応を段階的に区切った表)作成、職員に対する最新情報発信、定期的な消毒・換気等により感染症対策への意識を高めることができた。

食欲が低下した入居者に好みの食べ物を調理・提供したり、嗜好に合わせた個別の食べ物を提供したりする等、柔軟な対応ができた。

職員教育については、介護リーダーを対象とした人材育成研修会を実施した。また、県老協主催の研修会を始めとする外部研修にもオンラインで受講してもらい、知識と技術の向上を図ることができた。

人材確保に関してはユニットの介護職の数を常勤換算で18.0確保できた。フラワーホームユニットの介護職員の令和2年度の介護職離職者は常勤換算で3.0だった。

【収益的活動】

年間ベッド稼働率は99.2%で当初目標を0.2%上回り、予算達成比率100.6%だった。

入所施設における看取り介護加算については、ケアマネが中心となり、囑託医・看護職等の関係職種との連携を図り、算定率100%(死亡退所者4人中4人算定)と高い算定率だった。現状算定できている加算については、職員数の確保と看護職・介護福祉士・管理栄養士・機能訓練指導員・歯科衛生士等の専門職の配置により継続して算定することができ、収入に結び付けられた。

【支出的活動】

感染症対策に関するかかり増し経費について、行政からの補助金交付も受け、感染症対策に必要な備品の備蓄を行った。

浴室の天井走行式リフトの整備を行い、ノーリフト(持ち上げない介護)を浸透させ、介護者・入居者共に身体負担軽減の一役を担った。

【地域貢献活動】

1名の高齢者雇用を継続することができ、本人の労働意欲の向上だけでなく、入居者に対する細やかな配慮や気配りができ、介護人材不足を補う上でも大きな効果となった。

令和2年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホーム

延べ利用者数

単位 : 人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	90	622	787	1,499
5月	0	0	93	644	810	1,547
6月	0	0	90	630	759	1,479
7月	0	0	93	620	820	1,533
8月	0	0	93	620	837	1,550
9月	0	0	96	617	777	1,490
10月	0	0	124	670	744	1,538
11月	0	0	150	585	734	1,469
12月	0	0	155	589	787	1,531
1月	0	0	186	558	783	1,527
2月	0	0	168	504	709	1,381
3月	0	0	212	564	764	1,540
合計	0	0	1,550	7,223	9,311	18,084

実利用者数

単位 : 人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	3	21	27	51
5月	0	0	3	21	27	51
6月	0	0	3	21	26	50
7月	0	0	3	20	27	50
8月	0	0	3	20	27	50
9月	0	0	4	21	27	52
10月	0	0	4	22	24	50
11月	0	0	5	20	25	50
12月	0	0	5	19	27	51
1月	0	0	6	18	26	50
2月	0	0	6	18	26	50
3月	0	0	8	19	25	52
合計	0	0	53	240	314	607

令和2年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホーム
特別養護老人ホームフラワーホームユニット

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	6 28	開園記念日	法人内人材育成研修会		
5	25		職員研修会(書面開催)		
6	10 19 25		身体的拘束等適正化検討委員会 法人内人材育成研修会 出退勤時間の記録について		
7	27		介護スタッフが身につけておくべき5つのマナー		
8	3 5 5~6 25	職員健康診断	職員研修会会の目的について	介護技術専門研修(学科試験) ファーストステップ研修 県老協 吞取り研修	
9	2~3 9~10 11 17~18 19 25 29	敬老祝賀会	身体的拘束等適正化検討委員会 摂食嚥下障害について 法人内人材育成研修会	ファーストステップ研修 県老協 リスクマネジメント研修会 権利擁護推進員養成研修	
10	6~8 13~14 23		高齢者虐待防止研修	ファーストステップ研修 県老協 メンタルヘルス研修会	
11	4~5 18 25	法要法話	リスクマネジメントと感染症に対するシミュレーション	ファーストステップ研修	加来先生
12	1 3~4 10 15~16 17 25 28	餅つき茶話会	身体的拘束等適正化検討委員会 メンタルヘルス研修会	ファーストステップ研修 権利擁護推進員養成研修 県老協 認知症ケア研修会 ファーストステップ研修	
1	13~14 17 21~22 25		高齢者福祉研究会 人材育成・認知症ケア研修会	ファーストステップ研修 県老協 介護塾	
2	3 9 12 16 25 26	夜勤就業職員対象健康診断	認知症ワークショップ 第5回かごしま介護技能コンテスト 新型コロナウイルスで強くなる一斉介護現場に必要な考え方~ 認知症ワークショップ 高齢者福祉研究会	県老協 理事長・施設長研修会	
3	5 10 17 19 25	法要法話	認知症ワークショップ 身体的拘束等適正化検討委員会 認知症ワークショップ キャリアパス制度について		加来先生

- *4月職員研修会 ⇒ 感染症拡大防止の観点から実施できず。
- *県老協 たん吸引等実施のための研修(基本コース) ⇒ 感染症の影響で令和2年度中止
- *法要法話 ⇒ 感染症の拡大防止の観点から令和2年度ほとんど実施できず。
- *火災想定避難訓練等の自主訓練 ⇒ 感染症の拡大防止の観点から令和2年度実施できず。
- *龍桜高等学校(医療福祉科・看護科)、加治木看護専門学校実習 ⇒ 感染症の影響で令和2年度受け入れ実績なし

令和2年度 統計資料及び添付資料

<1>利用者の出身市町村別、年齢別の状況（令和3年3月31日現在の住所地） n=80

出身地	年齢 性別	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳	95歳	100歳	計	合計		
		～ 69歳	～ 74歳	～ 79歳	～ 84歳	～ 89歳	～ 94歳	～ 99歳	以上				
溝辺町	男	2	1		4	1	3			11	49		
	女	1	2	1	3	11	12	5	3	38			
国分	男						1			1	3		
	女						2			2			
隼人町	男				1		2			3	13		
	女			1	1	2	5	1		10			
横川町	男				1					1	2		
	女					1				1			
牧園町	女							2		2	2		
始良市	女						3	2	2	7	7		
曾於市	男				1					1	1		
湧水町	女					1				1	1		
鹿児島市	女					1		1		2	2		
計		3	3	2	11	17	28	11	5	80			
平均年齢		87.1歳			最高年齢			107歳5月		最少年齢		68歳10月	
男性		83.6歳			男性			94歳6月		男性		68歳10月	
女性		90.6歳			女性			107歳5月		女性		69歳9月	

<2>施設利用状況

事業所名		フラワーホーム			フラワーホームユニット			ショートステイ		
月	日数 (日)	日数× 50名	入居 延べ数	稼働率	日数× 30名	入居 延べ数	稼働率	日数× 20名	利用 延べ数	稼働率
4月	30	1,500	1,499	99.9%	900	900	100%	600	524	87.3%
5月	31	1,550	1,547	99.8%	930	926	99.6%	620	508	81.9%
6月	30	1,500	1,479	98.6%	900	900	100%	600	505	84.2%
7月	31	1,550	1,533	98.9%	930	930	100%	620	566	91.3%
8月	31	1,550	1,550	100.0%	930	918	98.7%	620	555	89.5%
9月	30	1,500	1,490	99.3%	900	891	99.0%	600	565	94.2%
10月	31	1,550	1,538	99.2%	930	920	98.9%	620	518	83.5%
11月	30	1,500	1,469	97.9%	900	896	99.6%	600	534	89.0%
12月	31	1,550	1,531	98.8%	930	911	98.0%	620	531	85.6%
1月	31	1,550	1,527	98.5%	930	930	100%	620	450	72.6%
2月	28	1,400	1,381	98.6%	840	825	98.2%	560	453	80.9%
3月	31	1,550	1,540	99.4%	930	914	98.3%	620	550	88.7%
合計	365	18,250	18,084	99.1%	10,950	10,861	99.2%	7,300	6,259	85.7%

* 小数第2位以下切り捨て

<3>介護度の状況

(令和3年3月31日現在) n=80

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男	0	0	2	6	9	17	4.41
女	0	0	8	24	31	63	4.37
計	0	0	10	30	40	80	4.38

<4>要介護認定更新の推移

	介護度維持	介護度進行	介護度改善	改善率
フラワーホーム	7名	5名	5名	29.4%
フラワーホームユニット	6名	7名	0名	0%
合計	13名	12名	5名	16.6%

*令和2年度、介護保険更新認定97名中30名の結果

<5>退所状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
フラワーホーム	94歳	男性	令和2年4月7日	死亡
	88歳	女性	令和2年5月4日	死亡
	99歳	女性	令和2年9月10日	死亡
	92歳	女性	令和2年9月17日	死亡
	84歳	男性	令和2年10月22日	死亡
	94歳	女性	令和2年10月28日	死亡
	87歳	女性	令和2年12月7日	死亡
	98歳	女性	令和2年12月29日	死亡
	98歳	男性	令和3年1月29日	死亡
	93歳	男性	令和3年2月12日	死亡
	80歳	女性	令和3年3月10日	死亡
	94歳	女性	令和3年3月20日	死亡
ユニット	91歳	女性	令和3年4月14日	死亡
	92歳	女性	令和2年5月8日	死亡
	88歳	男性	令和2年10月18日	死亡
	93歳	男性	令和2年10月30日	死亡
	95歳	女性	令和2年12月2日	死亡
	82歳	女性	令和3年2月3日	多床室へ転居
【退所状況 集計】				
		退所者数	看取り介護数	施設看取り率
	フラワーホーム	13名	13名	100%
	フラワーホームユニット	5名	4名	100% (転居者含まず)
	合計	18名	17名	100% (転居者含まず)

<6>事故の状況

(種別)

転倒	転落・滑り落ち	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	異食	その他
31	41	7	39	18	2	8

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
50	59	17	9	5	3	3

(発生時間帯)

深夜 0:00~4:00	早朝 4:00~8:00	午前 8:00~12:00	午後 12:00~16:00	夕方 16:00~20:00	夜間 20:00~0:00
9	22	37	30	36	12

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
92歳 女性 (多床室)	外傷	オムツ交換のために介護職が訪室。当該利用者、横向きになっていた。オムツ交換のため、上向きになってもらった。介助中、若干の抵抗あり、憤慨。介助のため、股関節を広げた所、介助者が右脚を保持した状態のまま、当該利用者が（左向きになるように）腰をひねるような動作があった。右腰部や臀部にかけて痛みが顕著。整形外科受診し、右大腿骨骨折の診断保険者に連絡。
90歳 女性 (短期入所)	転倒	当該利用者のナースコール（ベッドサイドにコールマット設置）が鳴動し、介護職が駆け付けた。ショートステイ多床室の廊下に座っている状態だった。右大腿部の痛みの訴えあり。排泄の希望もあり、併設の特養介護職員とトイレでの排泄介助、身体観察行った。右大腿部の腫脹が確認された。医療機関受診し、右大腿骨骨折の診断。保険者に連絡。
94歳 女性 (ユニット)	転落	自席に着席（車椅子座位）していた当該利用者が車椅子ごと右に傾いていたのに気づいた。すぐに駆けつけたが間に合わず、そのまま車いすごと転倒・転落。2~3cm大の右前額部裂創・出血(+)、右頬部(内出血斑)。徳永医院受診し、創部の皮膚接合用テープによる固定。抗菌剤、解熱鎮痛剤、止血・抗炎症剤処方。幹部クーリング・様子観察の指示。 2日後、声かけに開眼なく、意識レベル低下。右手背部の腫脹、右上肢の脱力あり。嘱託医の指示で救急搬送。右側頭部急性硬膜下血腫・外傷性くも膜下出血・脳室内出血・肺炎の診断。保存的治療となった。2週間ほどで退院し、帰園。保険者に連絡。

<7> 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
利用者家族 (苦情)	ショートステイ利用者の夫から、『昨日の夕方、ショートステイから帰ってきて妻が興奮気味に“いみしい人(職員)が3人いる。その内の1人は特にいみしい。”“寝巻に着替えようと話したら、黙って部屋を出て行った。掛布団をかぶせると依頼すると、今忙しいと言われ対応してもらえなかった。”“男性スタッフは対応がいい、動きもいい”と言っていた。』という内容の話が担当ケアマネに電話があった。	ショートステイの介護リーダーと施設生活相談員で担当ケアマネの所へ出向き苦情の詳細内容を確認。また、本件に関わった当該職員へ事実確認を行った。 介護リーダーと生活相談員で事実確認の内容伝達・謝罪のため当該利用者宅を訪問。 「分かりました。今後も職員への指導をして下さい。」と落ち着いた口調で言われ、謝罪を受け入れてもらえた。
入居者家族 (相談)	終末期(看取り介護)の施設入居者の県外在住の長男(一時的に帰鹿していた)から本人が亡くなった際の対応等について相談があった。	担当ケアマネ、看護職、生活相談員で話をする場を設けた。 そこでの話を経て、改めて葬儀業者にも入ってもらい、葬儀業者、長男、施設職員とで長男不在時の対応を定めた。

<8> 職員数

(令和3年3月31日現在)

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	介護支援専門員	機能訓練指導員	障害者支援員	管理栄養士	歯科衛生士	調理員	総務
1	4	1	51 (17)	6 (1)	4	1	1	2	2 (2)	4 (4)	6 (5)

* ( ) 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 51 名中「介護福祉士」有資格者 41 名

* 看護職員 6 名中「看護師」3 名「准看護師」3 名

* 総務は洗濯、清掃、送迎業務等に従事。総務 6 名中 2 名は障害者雇用

< 9 > 入職者数

職種 \ 年代	20代	30代	40代	50代	60代	計
介護職員	0	2	6	0	1	9
(うち介護福祉士)	(0)	(1)	(4)	(0)	(1)	(6)
看護職員	0	0	0	0	0	0
調理員	0	0	0	0	0	0
計	0	2	6	0	1	9

< 10 > 退職者数

性別/年代	在職期間	職種
男性 30代前半	12年 11ヶ月	介護職 (正社員)
男性 40代後半	10年 1ヶ月	介護職 (正社員)
男性 40代後半	9年 4ヶ月	介護職 (正社員)
女性 30代前半	8年 11ヶ月	介護支援専門員 (正社員)
男性 70代前半	7年 5ヶ月	宿直員 (非常勤)
女性 30代前半	4年 11ヶ月	介護職 (正社員)
女性 40代前半	3年 8ヶ月	栄養士 (正社員)
女性 40代前半	1年 0ヶ月	介護職 (正社員)
女性 50代後半	4ヶ月	総務 (非常勤)
男性 40代後半	2ヶ月	介護職 (正社員)
男性 40代前半	5ヶ月	介護職 (正社員)

* 介護職員の令和2年度離職率 14.0% (令和2年4月1日在職者50人を分母)

令和2年度 事業報告

フラワーホームデイサービスセンター

【総合的な目標の総括】

・昨年度も引き続き利用者が自発的に活動できる場を提供していくことを継続し、「できる事」を伸ばす事に努めた。職員の作業だった一部の業務を手伝ってもらうなど自発的に動ける生活活動を促していくことができた。しかし、まだまだ一部の利用者には自分から選択し活動するには難しいと思われる場合もある。従って、そのような利用者に対してどのように接して行くか今後の課題と考えている。

そして、昨年の初めから続くコロナウイルス感染予防対策に努めることとなり屋内外での活動・外との交流と活動を制限せざるをえなかった。ホール内のテーブルにはアクリルパーテーションの設置、徹底した検温、消毒、マスクの着用、換気に努めた。ご利用者の皆さんにもご理解・ご協力を頂き感染者が一人も発生しなかったことは大変良かったと思う。今年度も引き続き蔓延防止に努め、どのような形でサービスが提供でき工夫次第でどのような活動が出来るか模索し続けたい。また、職員も各々が規律ある行動を心がける。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

・利用者が自宅での生活が継続していけるよう、生活動作に繋がる活動・機能維持の訓練を行い、自発的な参加が出来ていた。

感染症対策で活動が制限される中、職員が様々な活動プログラムを思考し提供し利用者がレクリエーションを選択しながら参加することができた。体操なども利用者が自発的に時間になれば決まった場所に集まって来れるようになった。しかし、まだ一部では職員が介入し判断してもらうことも少なくない。自分から積極的に何かに取り組む為には、個人的な声掛け促しが必要な場合もある。

・認知症の症状の方も増えてきた。利用者間のトラブルも発生しており、職員が間を取り持つことも増えてきた。互いが認め合い理解し合えるには難しい事ではあるが、職員の介入が不可欠で、互いに勉強しながら症状に関わらず共に過ごせる空間作りをおこなっていきたい。

・人財育成

定期で事業所内研修を開催でき、個々の職員に議題を進行してもらうことで各々が勉強する機会を得ることが出来たが、今後の研修会ではもっと工夫を凝らし、内容の充実していくことが必要だと考えている。あと勤務形態と家庭の都合上どうしても参加できない職員がいることを考え、研修会の開催時間等、検討も必要かと考える。

【収益的活動】

- ・ SNS や広報誌の活用ができ、居宅支援事業所より利用者の紹介も多く頂き、利用者が 40 名の日もあり単純に収益を伸ばすことが出来たが、それと同時に慌ただしさも感じた。
- ・ 機能訓練Ⅱの加算取得することが出来たが、今年度から介護報酬の改定もあり減算も考えられ、在宅生活を継続していくうえで、デイサービスの必要性が試される時期だと考えている。“サービス提供が必要な利用者はどのような生活をしているのか？”“必要なサービスとは何か？”を見極めながら利用者に必要なサービスを提供していきたい。

【支出的活動】

- ・ リハビリ機器の導入、運動場所も拡張できた。機器と普段の体操などを組み合わせながら機能訓練指導員を補充していただいたことで機能訓練の充実を図れた。入浴を必要とする利用者も多いのだが、一日中入浴介助に時間を費やしてしまう場合もあり実際に自宅で入浴ができている利用者があるのなら、入浴の必要性を考えねばならない。
- ・ 新しく送迎車を購入させて頂けた。リフトが付いた特殊車両の軽自動車という事で送迎の際に様々な場面の対応がスムーズに行えた。

【地域貢献活動】

- ・ 地域への交流は時期的に外出交流を自粛した為に、昨年度は利用者手作りの人形を保育園へ寄贈した交流のみとなった。互いに交流が出来ない中、手作りのメッセージボードなどを交換する間接的な交流になった。
- また、作り貯めていた雑巾を水害で事業を停止し清掃作業に追われていた福岡県大牟田市の小規模多機能事業所へ微力ながら寄贈させて頂いた。
- 外出は難しくなっているが制作活動は継続しており、人と人とが密に交流することが難しい今、工夫をして方法をみつけ交流を継続していこうと考えている。

令和2年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームデイサービスセンター

延べ利用者数

単位 : 人

	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	62	14	47	294	221	156	38	0	832
5月	39	11	47	285	202	151	35	2	772
6月	61	11	61	310	207	169	38	9	866
7月	69	10	55	299	195	172	67	9	876
8月	68	11	62	278	169	157	58	9	812
9月	80	15	63	243	160	162	63	8	794
10月	77	16	60	274	173	197	66	6	869
11月	67	11	76	249	160	176	61	9	809
12月	65	15	84	280	182	149	50	8	833
1月	41	14	71	248	158	125	48	10	715
2月	45	16	60	243	148	133	46	10	701
3月	48	16	64	271	170	146	58	12	785
合計	722	160	750	3274	2145	1893	628	92	9664

実利用者数

単位 : 人

	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	11	4	9	30	25	19	4	0	102
5月	10	3	11	29	23	18	4	1	99
6月	11	3	11	30	26	19	3	1	104
7月	11	3	11	28	22	18	5	1	99
8月	11	4	10	28	22	18	5	1	99
9月	12	4	10	25	22	22	5	1	101
10月	12	4	10	26	21	23	5	1	102
11月	11	3	12	27	19	21	6	1	100
12月	10	4	13	28	20	17	5	1	98
1月	9	4	13	27	19	14	5	2	93
2月	10	4	11	28	19	15	5	2	94
3月	10	4	10	28	19	16	5	2	94
合計	128	44	131	334	257	220	57	14	1185

令和2年度 行事及び研修実績表

フラワーホームデイサービスセンター

月	行事	日	内部研修	外部研修	来園者
4	桜見物(花見) 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	11	事業所情報連絡会		
5	選択レクリエーション 新緑ツアー カレンダー作成・体重測定	9 27	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会		
6	選択レクリエーション 七夕飾り作り カレンダー作成・体重測定	13 19 25	事業所情報連絡会 法人内人財育成研修会 在宅部門職員研修会		
	選択レクリエーション 夏祭り カレンダー作成・体重測定	11 19 25	事業所情報連絡会 高齢者福祉研究会 在宅部門職員研修会		
8	選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	14 27	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会		
9	かかし祭り見学 敬老会 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	12 24 29	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会 法人内人財育成研修会		
10	運動会 コスモス畑見学 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	10 25	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	安全運転管理協議会 法定講習会・定期総会6/27 一ノ宮敦	
11	選択レクリエーション 紅葉見学 カレンダー作成・体重測定 芋ほり	14 25	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会		11/3 竹ちゃん一座
12	正月飾り制作活動 忘年会 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	12 25	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	介護労働安定センター 魅力ある職場づくりセミナー 11/27 日置かおり	
1	正月遊び 外出行事 カレンダー作成・体重測定 選択レクリエーション	12 9 27	事業所情報連絡会 在宅コロナ対策会議 在宅部門職員研修会		
2	節分豆まき 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	13 26 25 12.26	事業所情報連絡会 高齢者福祉研究会 在宅部門職員研修会 認知症ワークショップ		
3	ひな祭り 花見 カレンダー作成・体重測定	12 5.2 25	事業所情報連絡会 認知症ワークショップ 在宅部門職員研修会	霧島市ワクチン接種説明会 オンライン会議 3/26 一ノ宮 通所部会報酬改定説明会 オンライン会議 一ノ宮	

<1>登録利用者状況

	介護	総合事業（支援含）	計
4月	78	24	102
5月	75	24	99
6月	79	25	104
7月	74	25	99
8月	74	25	99
9月	75	26	101
10月	76	26	102
11月	74	26	100
12月	71	27	98
1月	67	26	93
2月	69	25	94
3月	70	24	94

<2>曜日別・月別平均利用者数（定員 45名）

	月	火	水	木	金	土
4月	32	32	30	31	37	32
5月	33	33	28	31	30	25
6月	34	33	33	32	37	31
7月	32	34	31	33	33	31
8月	33	31	30	31	31	32
9月	25	33	28	33	33	33
10月	33	33	31	32	33	33
11月	32	34	32	31	33	32
12月	32	36	26	28	31	33
1月	31	32	28	29	28	25
2月	32	33	26	30	31	25
3月	34	31	25	30	31	24
平均	32	33	29	31	32	30

少数点第一を四捨五入

<3>介護度の状況 (令和3年3月31日現在)

性別	総合	介1	介2	介3	介4	介5	計
男	6	4	6	3	3	1	23
女	18	24	13	13	2	1	71
計	24	28	19	16	5	2	94

<4>利用者年代別状況 (令和3年3月31日現在)

70代	80代	90代	100代
8	55	30	1

<5>介護度別平均年齢状況 (令和3年3月31日現在)

性別	総合	介1	介2	介3	介4	介5	平均
全	84	84	86	89	83	92	86
男	84	88	85	82	82	95	86
女	84	87	86	91	84	90	87
		最高齢	102歳	若年齢	69歳		

<6>要介護認定更新の推移

介護度維持	介護度進行	介護度改善	改善率
51名	18名	2名	2.8%

*令和2年度、介護保険更新認定69名の結果

<7>ヒヤリハットの状況

(種別)

注意不足	離設	送迎車	異物混入	利用者の行為
7	4	0	1	6

(発生場所)

ホール	和室	浴室	脱衣場	トイレ	洗面所	送迎中	玄関	屋外	その他
5	1	4	2	0	0	1	3	2	0

(発生時間帯)

朝迎え時 8:30~9:30	午前中 9:30~12:00	午後 12:00~15:45	夕送り時 15:45~16:45
1	8	9	0

<8>事故の状況

(種別)

転倒・転落	外傷	皮膚剥離	打撲	その他
11	1	2	2	
送迎ミス	紛失			
0	1			

(発生場所)

食堂ホール	浴室	脱衣場	トイレ	車内
8	0	0	1	1
玄関	自宅	静養ベッド	屋外	和室
2	1	1	1	2

(発生時間帯)

朝迎え時 8:30~9:30	午前中 9:30~12:00	午後 12:00~15:45	夕送り時 15:45~16:45
0	8	9	0

<9>車両事故

物損(謝罪)	物損(補償)	自車のみ	対向車
3	0	0	0

<10>苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
上村ヨシ子 妹・熊副マサ子	家族が入浴をさせてもらえない と言うのだがと相談	本人の体調の事、入浴の仕方によつては急変するなど事情を説明。事情はよく分かったと了解を得るが家族が責任を持つので本人の思うように入浴はさせて欲しい。返事をもらう。

< 1 1 > 職員数

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	事務員
1	7 (1)	2	1	1

* ( ) 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 8 名中「介護福祉士」有資格者 8 名

* 看護職員 2 名中「看護師」2 名

* 機能訓練指導員は作業療法士 1 名

令和 2 年度 事業報告

フラワーホームホームヘルプサービス

【総合的な目標の総括】

今年度の目標は『利用者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができる』でした。しかし、コロナ下の中、ヘルパーとしてできることは行いましたが利用者の方々には窮屈に思われる事もあったと思います。

家族特に県外にいらっしゃる家族には今の状態を度々報告しました。

令和 2 年度は未知の感染症との闘いが始まり最初は手探りの日々でした。まずは自分達から感染者を出さないよう細心の注意を払い正確な情報をヘルパー間で共有しました。利用者の方にもパンフレットなど作り一緒に感染予防を行いました。新型コロナウイルス感染症とはまだ長い闘いになりそうです。こうした未知のウィルスは今後もまた発生するかもしれません。その時もっと迅速に効果的に対応できるように今回のコロナで学び得たことを次に繋がるよう記録に残したいと思います。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

ヘルパーの質を上げるため資格取得もしました。またコロナ感染症についてヘルパーミーティング時に理事長、徳永副団長に研修して頂き再認識しました。

【収益的活動】

コロナ化の中利用者、家族、居宅介護支援事業所などと連携を図り収益を上げることができました。保険外活動では、利用者の病院受診などの付き添いを行いました。

【支出的活動】

支出においてコロナ感染症予防備品購入が多くなりましたが、これらを利用して感染症対策を行っています。

【地域貢献活動】

本年度は地域の行事も少なく地域の方々との連携はあまり図れませんでした。

令和2年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームホームヘルプサービス

延べ利用者数

単位 : 人

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	31	4	23	269	295	184	33	8	847
5月	32	4	30	257	283	204	39	13	862
6月	19	4	41	234	292	200	30	30	850
7月	17	7	43	227	320	178	31	36	859
8月	19	11	50	206	301	201	31	35	854
9月	22	12	52	173	283	193	30	28	793
10月	23	11	55	197	295	232	31	36	880
11月	24	8	70	153	242	221	30	38	786
12月	20	12	76	184	270	202	25	40	829
1月	20	10	79	185	250	194	27	40	805
2月	20	12	66	168	212	199	28	42	747
3月	20	14	73	166	237	201	31	54	796
合計	267	109	658	2419	3280	2409	366	400	9908

実利用者数

単位 : 人

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	4	1	5	22	19	12	2	1	66
5月	4	1	5	19	19	13	4	2	67
6月	4	1	7	19	22	15	1	2	71
7月	4	2	7	19	21	12	1	3	69
8月	4	2	8	17	20	13	1	2	67
9月	4	3	8	16	18	14	1	2	66
10月	4	3	9	17	16	16	1	2	68
11月	4	1	10	13	15	16	1	2	62
12月	3	2	11	16	16	13	1	2	64
1月	3	2	12	17	15	13	1	3	66
2月	3	2	11	18	12	13	1	3	63
3月	3	3	11	16	13	12	1	3	62
合計	44	23	104	209	206	162	16	27	791

令和2年度 行事および研修実績表

フラワーホームホームヘルプサービス

月	日	行事・研修	内部研修	外部研修	参加者
4	14 28	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング			
5	12 26	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	接遇について		
6	9 23	ヘルパーミーティング	新型コロナウイルス対策 腰痛対策		
7	14	ヘルパーミーティング			
8	11 25	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	熱中症・脱水予防 口腔ケア		
9	15 29	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング			
10	13 20 27	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	認知症の理解と対応 介護職員のための感染対策		
11	10 24	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	感染リスクが高まる5つの場面		
12	8 22 29	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	個人情報・プライバシーの保護 ガウン着脱の仕方（実技）		
1	12	ヘルパーミーティング			
2	16	ヘルパーミーティング	高齢者虐待・身体拘束		
3	9 23	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	緊急時対応		

令和2年度 事業報告書

フラワーホーム居宅介護支援事業所

【総合的な評価】

令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、各事業所、予防や対応にと業務負担が増えた年度であった。他県では利用者が感染を恐れ、サービス利用を控える事により事業所の収入減となり、縮小や閉鎖する事業所のニュースもあった。感染の予防及びまん延防止にモニタリング訪問等も、臨時的な取り扱いとして電話対応で可能であったが、利用者の状況は直接対面し確認する事が大切と皆で考え、定期訪問等は感染防止に留意し行った。利用者が安全に安心して生活が継続できるように感染症について学び、正しく理解する事に努め、感染発生時についても法人内で各事業所と共に、利用者にとって必要なサービスが提供されるように対応策を決めた。

平成20年度より始まった介護給付費適正化事業として公正中立なケアマネジメントが行われているかのケアプラン点検が、令和2年度より「株：くまもと健康支援研究所」に霧島市が委託し行われた。各介護支援専門員が提出したサービス計画書等の書類に基づいて、「利用者の自由な選択を阻害していないか」、「自立支援に資するものとして十分な内容となっているか」、「真に必要なサービスが適切に位置づけられているか」、「重度化防止を図っているか」等の視点で点検を受けた。ケアマネジメントの質の向上を求められるなか、平均点を上回る評価を個別に受ける事が出来た。

収入面では過去実績に比べ増額となり、昨年と比較し約157万円（7%増）であった。新規利用者数は月平均4人であるが入院の平均が月5.6人あり毎月の定着数の維持が難しく、また連携シート作成等の時間を要するなどした。提出書類が多い中、利用者に対しての対応時間を維持確保しながら支援業務を行った。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

- ・主任介護支援専門員の資格取得を行った。
- ・加算の条件である週1回の事例等の研修を行い、チームとして問題解決が行えるように努めた。

【収益活動】

- ・新規契約者の確保となれるようにパンフレットを作成し市役所、医療機関連携室へ配布設置依頼を行った。

【支出的活動】

- ・新型コロナ禍の感染予防対策に必要な備品の購入。
- ・迅速な対応が行えるように居宅専用訪問車の購入。

【地域貢献活動】

- ・コロナ禍により地域の行事も中止され、地域行事等に参加したりすることは出来なかった。
- ・事業所周辺等は常に清掃を心掛け、玄関前には四季の花作りを行った。

令和2年度居宅研修報告

	内部研修		外部研修
4月1日 7日 14日 20日 27日	・事例検討 ・コロナ対応について ・感染について ・感染対策 ・介護保険20年		
5月4日 11日 18日 25日	・事例検討 ・事例検討 ・成年後見制度 ・事例検討		
6月1日 8日 10日 15日 22日 26日	・事例検討 ・人員基準臨時的対応について ・他居宅合同研修 コロナ対策 ・ターミナル事例検討 ・認知症の理解 ・認知症の対応		
7月1日 6日 14日 21日 31日	・認知症の予防と治療法 ・個人情報 の定義 ・事例検討 ・モニタリングについて ・小脳、脳幹部梗塞について	7月3日	・霧島市 介護予防 (道正化事業について)
8月4日 10日 17日 24日 31日	・事例検討会 ・支援費について ・特殊詐欺について ・介護リスク ・研修報告	8月13日	・霧島市集団指導
9月8日 15日 24日 30日	・自然災害時の対応 ・事例検討 ・社会保障について ・コンプライアンス	9月4日	・新型コロナウイルス感染対策研修
10月9日 12日 20日 27日	・人の心の痛み ・権利擁護 ・認知症の理解 ・高齢者虐待	10月1日 2日	・介護支援専門員協議会研修 (自立支援ケアマネジメント) ・霧島市包括主催事例検討研修 (事例検討)
11月2日 9日 16日 20日 24日	・生活保護 ・金銭管理 ・障害福祉 ・身寄りのない人への支援 ・意見交換	11月2日 28日	・包括主催ケアマネ研修 (ケアマネジメントについて) ・県介護支援専門員協議会研修 (疾病と医療) (未来のケアマネジメント)
12月3日 7日 14日 22日 25日	・ケアマネ協議会研修 ・事例検討 ・事例検討 ・入浴事故について ・感染症について	12月16日	・始良伊佐介護支援専門員協議会研修 (終末ケアについて)
1月4日 8日 12日 18日 25日 29日	・新型コロナ感染症 ・事例検討 ・感染予防対策 ・研修報告 ・メンタルヘルス ・介護保険改正	1月20日 25日 ～18日	・包括あしたば研修 (令和3年度介護報酬改定について) ・主任ケアマネ資格取得研修
2月2日 8日 15日 22日 25日	・摂食、嚥下障害 ・事例検討 ・職員のメンタルヘルス ・事業計画 ・褥瘡予防	2月17日 23日 ～26日 26日	・霧島市介護支援専門員研修 ・主任ケアマネ資格取得研修 ・ハラスメント対応セミナー
3月1日 8日 15日 22日 29日 31日	・社会状況の変化 ・次年度予算、研修内容 ・援助者としての資質 ・世界のコロナ禍状況 ・研修報告 ・専門職とは	3月16日 ～19日 3月17日	・主任ケアマネ資格取得研修 ・包括あしたば研修 (コロナ対策机上訓練)

令和 2 年度月別利用者実績人数

単位:人

	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4 月	2	18	47	36	23	7	3	136
5 月	2	20	46	35	26	7	4	140
6 月	3	19	49	36	26	7	6	146
7 月	3	19	50	33	26	9	5	145
8 月	3	19	50	35	25	9	5	146
9 月	3	19	46	34	28	9	5	144
10 月	3	20	45	34	29	9	5	145
11 月	3	20	47	33	29	10	6	148
12 月	3	19	47	36	26	8	7	146
1 月	3	22	46	35	24	8	8	146
2 月	3	23	48	32	23	8	7	144
3 月	4	21	50	33	24	8	7	147
合計	35	239	571	412	309	99	68	1733

令和 2 年度居宅介護支援月別状況

単位:人

	男性予防	女性予防	男性介護	女性介護	予防新規	介護新規	入院	入所	死亡
4月	4	16	45	71	0	2	1	1	2
5月	4	18	47	71	2	4	6	1	0
6月	5	17	48	76	1	6	6	0	1
7月	5	17	48	75	1	4	7	0	0
8月	6	16	48	76	1	0	7	1	1
9月	6	16	46	76	0	3	6	2	0
10月	5	18	47	75	1	1	5	2	1
11月	5	18	48	77	1	5	3	3	2
12月	5	17	46	78	0	5	7	2	2
1月	7	18	43	78	2	2	8	2	2
2月	7	19	40	78	2	3	6	0	1
3月	8	17	42	80	1	1	6	1	1
合計	67	207	548	911	12	36	68	15	13
月平均	5.58	17.25	45.6	75.91	1	3	5.6	1.25	1.08

令和2年度 事業報告

地域包括支援センター

【総合的な目標の総括】

令和2年度は、相談実績が147件あり、介護保険やサービス、施設についての相談に関するものが75件であった。その内32件は介護保険申請を行い、必要な支援へ繋げている。相談対応に伴う訪問や対応を年間422件行っている。高齢者虐待や困難事例として6件の個別地域ケア会議を開催した。精神疾患を疑う対象者もおられ、警察、行政などと連携を図り対応を行った。

平成30年度から旧市町村単位で開催してきた家族介護者交流会は、コロナウイルスの影響にて開催中止となった。今年度は開催する方向で検討を行っているが、開催方法について模索中である。

地域の事業所との連携、強化を図る目的である地域ネットワーク推進会議についても、コロナウイルスの影響で開催することが出来なかった。令和3年度は、顔の見える関係作りがより行えるように情報交換を行い、日頃からの関係性作りを図っていくためにも開催できればと考えている。

民生委員との連携については、定例会を通じて顔の見える関係作りや情報交換を行っており、定期的に民生委員からの相談があり相談件数も増えてきている。民生委員定例会については、4月、5月はコロナウイルスの影響で中止であったが、6月以降は会場の喚起や検温を行う形で行われている。今後も民生委員と連携を図っていきたい。

来所相談を希望される方もいるが、コロナウイルスの影響で来所に制限があるため、総合支所に場所を提供して頂いたり、こちらから訪問する形で相談対応を行った。コロナウイルス対策を行いながら相談対応を行っている。県外の家族がコロナウイルスにて帰省できず電話相談をしてくるケースや、急遽県外の家族が帰省して来られるケースなどもあり、相談対応の方法について苦慮することもあった。

資質向上に関しては、業務連絡会やオンラインでの外部研修に参加することで、知識向上を図った。

令和2年度 行事及び研修実績表

地域包括支援センター

月	日	行事	日	内部研修	日	外部研修
4	18	包括業務方針検討(ワーキング)	9 9 10	事業所情報連絡会 コロナウイルス勉強会 リーダー会議		
5	15 19	包括業務連絡会 LSWに関する事	11 25	リーダー会議 職員研修会		
6	1 8 8 9 16 19 20	第9期高齢者福祉計画・第8期介護保険 事業計画策定説明会&ワーキング ワーキング 個別地域ケア会議打合せ 個別地域ケア会議 民生委員定例会 包括業務連絡会 個別地域ケア会議	4 10 11 25	理事会 リーダー会議 事業所情報連絡会 職員研修会		
7	13 14 16 22 31	移動販売打合せ 民生委員定例会 養護老人ホーム入所判定委員会 包括業務連絡会 個別地域ケア会議	24	職員研修会	3 9~10	居宅介護支援事業所など研修会 地域情報化アドバイザーオンライン研修
8	18 21	民生委員定例会 包括業務連絡会	24	職員研修会		
9	3 14 15 15 18	個別地域ケア会議 自立支援ケア地域ケア会議打合せ 民生委員定例会 自立支援地域ケア会議 包括業務連絡会	10 23~24 25	事業所情報連絡会 包括業務説明 職員研修会		
10	13 16	民生委員定例会 包括業務連絡会	8 23	事業所情報連絡会 職員研修会	19	霧島市ケアマネ会あしたば
11	9 17 20	通所Cに関する情報整理 民生委員定例会 包括業務連絡会	12 25	事業所情報連絡会 職員研修会	2	包括主催CM研修会
12	15 25	民生委員定例会 包括業務連絡会	17 25	事業所情報連絡会 職員研修会	10 18	引きこもり支援研修 霧島市ケアマネ会あしたば
1	15 19 20	包括業務連絡会 民生委員定例会 個別地域ケア会議	4 7 12 25	在宅コロナ対策会議 感染対策委員会 在宅コロナ対策会議 職員研修会	18 19 20	県地域包括・在介センターセミナー おもいやりネットワーク研修 霧島市ケアマネ会あしたば
2	10 16 16 19 20	個別地域ケア会議 民生委員定例会 自立支援地域ケア会議・モニタリング 包括業務連絡会 個別地域ケア会議	11 25	事業所情報連絡会 職員研修会	17 19	包括主催CM研修会 県地域包括・在介センター職員研修
3	8 16 19	設置法人連絡会 民生委員定例会 包括業務連絡会	11 25 26	事業所情報連絡会 職員研修会 評議委員会	3 17 26	介護予防従事者研修 地域包括ケア担当職員セミナー コロナワクチン臨時接種に関する説明会

令和2年度 事業報告

小規模多機能ホームふもとの家

【総合的な目標の総括】

ふもとの家ではご利用者一人ひとりの思いを尊重し、役割や生きがいをもって住み慣れた地域や自宅で生活し続けられるよう支援していくことを目標に掲げた。しかし、新型コロナウイルス感染症予防の観点からご利用者の活動において多くの制限をせざるを得ない状況となった。

外出活動やイベント等も自粛せざるを得ない中、事業所内でのイベントを工夫し行い、ご利用者がこれまでの暮らしの中で大切にしていた味噌づくり、野菜づくり、そば打ち、餅つき等をみんなで楽しく継続していくことで、充実した日々を過ごして頂けるよう支援してきた。

看取り介護を行ったご利用者の葬儀をふもとの家で執り行う等、ご利用者やご家族との関係性を深めるような取り組みも行うことが出来た。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

ノーリフト(持ち上げない介護)に取り組み、介護する側・される側双方において負担の少ない職場環境づくりに取り組んだ。身体的・精神的負担が軽減される身体介助を習得し、必要な福祉用具を揃えることにより、腰痛で休職する職員もいなかった。また、記録物の電子化を推進したことにより、記録に要していた時間を削減できた分、ご利用者と関わる時間が増え、支援を手厚くすることにもつながった。一部のご利用者においては、「～したい」の実現に向けて、一時帰宅などの個別支援を実践することができた。

【収益的活動】

令和2度は8名の登録解除者に対し7名の新規登録者を受け入れることが出来た。しかし、平均介護度の低下と入退院等の関係により登録定員29名に対し24～27名の登録者数となり、前年度と比較し収入は減少してしまった。小規模多機能サービスは、包括報酬である為、ご利用者の入院・入所で大きく変化しますが、入院されても再びふもとの家の利用を希望して頂き、ご本人・ご家族と長くお付き合いすることができている。最期までお付き合いできる事業所であることで安定した収益、運営にもつながると考える。

【地域貢献活動】

感染症対策を講じたうえで保育園児たちとの交流を継続することは出来た。しかし、地域の方々との交流事業「お茶ったもんせ」は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止することとなり、例年と比べると地域とのつながりをもつ機会が少なかった。

令和2年度 月別介護度別利用実績一覧表

小規模多機能ホームふもとの家

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月		17	261	187	90	90	90	735
5月			257	199	124	112	93	785
6月			222	207	96	89	120	734
7月			147	274	93	90	124	728
8月		14	135	245	124	86	124	728
9月		22	144	231	120	86	105	708
10月	8	27	151	235	124	89	84	718
11月	6	26	90	303	120	62	60	667
12月	8	27	93	314	173	57	62	734
1月	6	27	93	292	161	114	62	755
2月	8	24	84	271	98	137	84	706
3月	12	27	93	300	109	134	80	755
合計	48	211	1770	3058	1432	1146	1088	8753

実利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月		1	9	7	3	3	3	26
5月			9	7	4	4	3	27
6月			8	7	4	3	4	26
7月			5	9	3	3	4	24
8月		1	5	8	4	3	4	25
9月		1	5	8	4	3	4	25
10月	1	1	5	8	4	3	3	25
11月	1	1	3	11	4	3	2	25
12月	1	1	3	11	6	2	2	26
1月	1	1	3	10	6	4	2	27
2月	1	1	3	10	4	5	3	27
3月	1	1	3	10	4	5	3	27
合計	6	9	61	106	50	41	37	310

令和2年度 行事及び研修実績表

小規模多機能ホームふもとの家

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	4	花見	基本的な介護技術に関する研修		照明保育園児
	6	ドライブ			
	8	照明寺保育園交流			
	24				
	26	誕生会			
5	9	こいのぼり作成	認知症及び認知症ケアに関する研修		
	13	ドライブ(山田鯉のぼり)			
	20・25	びわ収穫			
	25				
	30	かからん団子作り			
31	お別れ会				
6	7	高粱漬物作り	食事や嚥下に関する研修		
	13	てるてる坊主作り			
	16~25	七夕飾り作り			
	23	ドライブ(あじさい見物)			
	25	誕生会			
30	ホットケーキ作り				
7	6	スイカ割り	小規模多機能型居宅介護について		照明保育園児
	7	七夕飾りつけ			
	17	から芋植え			
	18	照明寺保育園交流			
	21	七夕飾り作り			
26	誕生会				
8	13	そーめん流し	身体的拘束等の排除の取組みに関する研修		
	25				
	26	栗どらやき作り			
	29	誕生会			
9	2	栗拾い	感染症(感染と飛沫を考えた介護)に関する研修		
	9	誕生会			
	12	ドライブ(栗拾い)			
	16	ホットケーキ作り			
	23	ドライブ(かぼちゃ収穫)			
	25				
25・29	ドライブ(山田のかかし)				
29	そーめん流し				
10	7	誕生会	小規模多機能型居宅介護について		
	9	ドライブ(そばの花見物)			
	12	味噌作り			
	23	ドライブ(コスモス・赤そば見学)			
	25	ドライブ			
	26	ほぜ祭り			
29	味噌作り				
11	4・10・12	からいも掘り	非常災害時の対応に関する研修	群馬市地域包括ケア・ライフサポートワーカー現職研修 「お日さまに照らされて」	
	9	芋ねぎ植え			
	10				
	15	ドライブ			
	25				
	27				
30	誕生会				
12	1	大根収穫	法令遵守(コンプライアンス)に関する研修		
	3	そば落とし			
	8	こんにゃく作り			
	15・16	クリスマスツリー作り			
	18・21	門松作り			
	20	ドライブ			
	22	クリスマス会			
	25				
	28	餅つき			
	31	そば打ち			
1	1	元旦 おとそ・正月あそび	介護記録の書き方に関する研修		小規模多機能実践交流会
	2	おとそ・正月あそび			
	6	書初め			
	11	鏡開き			
	12	みかんちぎり			
	16				
	19	きのこ打ち			
25					
31	花植え(パンジー)				
2	1	大根収穫	コロナウイルスの特徴と予防に関する研修	群馬市地域包括ケア・ライフサポートワーカー現職研修公開講座「地域包括支援センターとの連携相談連絡票の活用方法」	
	6	誕生会			
	12				
3	22	ひな人形作り	事故発生等緊急時の対応に関する研修		
	25	ドライブ(大出水)			
	10	ドライブ(丸岡公園)			
	14	ドライブ(加治木・篤人)			
	19	葬儀			
22	花見				
25					

令和 2 年度統計資料及び添付資料

＜1＞利用者の出身市町村別、年齢別の状況

（令和 3 年 3 月 31 日現在の住所地）

出身地	年齢 性別	65 歳	70 歳	75 歳	80 歳	85 歳	90 歳	95 歳	100 歳	計	合計
		～ 69 歳	～ 74 歳	～ 79 歳	～ 84 歳	～ 89 歳	～ 94 歳	～ 99 歳	以上		
溝辺町	男	1	1	0	1	2	0	0	0	5	22
	女	2	0	2	0	7	6	0	0	17	
隼人町	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	女	0	0	0	0	0	2	1	0	3	
横川町	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
福山町	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
計		3	1	2	1	9	10	1	0	27	
平均年齢		86.6 歳		最高年齢		96 歳 2 月		最少年齢		64 歳 5 月	
男 性		78.8 歳		男 性		89 歳 3 月		男 性		64 歳 5 月	
女 性		86.6 歳		女 性		96 歳 2 月		女 性		66 歳 4 月	

＜2＞施設利用状況

事業所名		ふもとの家	
月	登録定員	登録者数	稼働率
4 月	29	26	89.6%
5 月	29	27	93.1%
6 月	29	26	89.6%
7 月	29	24	82.7%
8 月	29	25	86.2%
9 月	29	25	86.2%
10 月	29	25	86.2%
11 月	29	25	86.2%
12 月	29	26	89.6%
1 月	29	27	93.1%
2 月	29	27	93.1%
3 月	29	27	93.1%
合計	348	27	93.1%

* 小数第 2 位以下切り捨て

< 3 > 介護度の状況

(令和3年3月31日現在)

性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男	0	0	1	2	1	0	1	5	2.6
女	1	1	2	8	3	5	2	22	2.8
計	1	1	3	10	4	5	3	27	2.8

< 4 > 契約解除状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
ふもとの家	93歳	女性	令和2年5月31日	入所
	88歳	女性	令和2年6月6日	入所
	87歳	女性	令和2年6月30日	通所介護利用
	94歳	男性	令和2年9月15日	死亡
	93歳	男性	令和2年10月22日	入所
	99歳	女性	令和2年11月8日	死亡
	85歳	女性	令和3年3月13日	入院
	82歳	男性	令和3年3月18日	死亡
		退所者数	看取り件数	
ふもとの家		8	3	

< 5 > 新規利用者状況

	介護度	年齢	性別	登録日
ふもとの家	支援2	88歳	女性	令和2年4月14日
	支援2	66歳	女性	令和2年8月1日
	支援1	91歳	女性	令和2年10月1日
	介護2	85歳	女性	令和2年11月1日
	介護3	91歳	女性	令和2年12月1日
	介護3	64歳	男性	令和2年12月1日
	介護3	90歳	女性	令和3年1月14日

<6>事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	誤飲	離園	その他
8	2	8	8	5	0	1	3

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
11	8	2	4	0	4	4

(発生時間帯)

深夜帯 0:00~4:00	早朝帯 4:00~8:00	午前中 8:00~12:00	午後 12:00~16:00	夕方 16:00~20:00	夜間 20:00~0:00
2	4	16	6	6	0

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
85歳 女性	骨折	起床時、足の痛みの訴えあり車椅子にて対応。朝食後にトイレ誘導する際に右足に強い痛みの訴えあり。熱感・腫脹みられた為、診療所 Dr へ報告する。11:20Dr 往診後、13:15 救急車にて医療センターへ搬送。右大腿骨骨折にて入院となる。週5日宿泊を利用されていたが、利用中に転倒等もなく前日も歩行され過ごされていた為、はっきりとした原因分からず。
89歳 女性	褥瘡	高齢者住宅へお送りし、就寝介助の際に靴下を脱がすと痛みの訴えあり、左足踵に3cm径の円形の表皮剥離あり傷の状態も深く褥瘡状態となっていた。診療所 Dr へ報告行う。本人に確認したところ朝から痛みがあったと話される。就寝される際、職員のセットしていた湯たんぽが接触し体動がなかったことにより長時間踵部分に接触し低温火傷状態になっていたと思われる。

<7>職員数

(令和3年3月31日現在)

管理者	計画作成担当者	看護職員	介護職員
1	1	1	12 (4)

* ( ) 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 12名中「介護福祉士」有資格者 8名

* 看護職員 1名中「准看護師」1名